

(一社)住環協 会員各位

真の住まい通信 No.39 に続いて、No.40 以降では(一社)住環協の活動方針を以下の5つの柱について説明をして、普及啓発につながる事例紹介をしていくことにします。

1. 実測値に基づくエネルギー消費の性能表示認証を継続

総エネルギー消費の評価 “総合A” 4ランク 各5区分 ☆6～☆9
総合Aの相对比较として 2020年省エネ基準適用性能は ★5
暖冷房・換気のエネルギー消費の評価 “PHE” 4ランク 各5区分

“総合A”と“PHE”は実測に基づく評価です。車の燃費表示が従来の1表示から実測に近い4表示になりそうです。実情に合わないとの世論に動かされた結果です。2020年の省エネ基準義務化に伴う計算値一次エネルギーGJから換算するkWh/m²は受け入れられるでしょうか。

2. 床暖房・断熱材なしの戸建て住宅のエネルギー消費

2020年から新築住宅について省エネルギー基準義務化適用となります。住環協の性能表示の☆9から☆6に対して★5に相当します。断熱強化と高効率設備機器による性能向上が基本仕様になります。

それが床暖房・断熱材なしの木造住宅で☆7,8になっている事例を紹介いたします。

3. 飯綱杜の家族(高齢者3世帯)の経緯と展望

飯綱高原に長く住み続けたい思いをもって十分に話し合っ実現させた木造共同住宅について経緯、現状、展望について紹介します。

4. 準寒冷地の戸建て住宅対応の床暖房リフォーム

ログハウス、在来木造住宅に床暖房をすることの効用について紹介します。

5. 介護施設等の省エネルギー・快適性の設計施工、評価

介護福祉施設、病院に従来建築仕様に比べて暖冷房の省エネ、快適性を追求した建築仕様について紹介します。

お知らせ 山下研究室の活動が甲信鋼業(株)のHPから見られることになりました。良質な介護ホームなど住建物の設計、施工、コンサルを手掛けるカルナ事業に賛同したことで実現しました。参考に見ていただければ幸いです。 <http://www.k-koushin.co.jp/>

2017年4月

一般社団法人住建物の音熱環境性能表示推進協会
略称(一社)住環協 理事長 山下恭弘
〒380-0928 長野市若里4-5-6
TEL 026-213-4092 FAX 026-213-4963
Mail : yamalab@angel.ocn.ne.jp
HP : <http://www.shinnosumai.com/>



一般社団法人 住建物の音熱環境性能表示推進協会

<http://www.shinnosumai.com/>